

ごあいさつ

現在の日本は、燃料や金属などの地下資源をほとんど輸入に頼っています。しかし、かつて日本は世界有数の鉱業国でした。この長野県でも、つい数十年前まで各地で盛んに鉱山の採掘や試掘が行われていました。

ところで、長野県は東北日本と西南日本の境界部に位置しているために、地質構造が非常に複雑です。このため、県内には実に多様な地下資源が眠っています。これらの資源は、かつては広く利用されていましたが、ほとんどの鉱山が閉山してしまった現在では人々の記憶から忘れ去られようとしています。

この展示では、地下資源の中から特に金属資源を取り上げて、県内の金属鉱床の概要について解説するとともに、長野県の鉱業史についても紹介します。我々の豊かな生活を支えている地下資源について理解を深めていただければ幸いです。

平成 11 年 10 月 9 日

長野市立博物館長

目 次

カラー図版	1
I 鉱石と金属	9
長野県の金属資源	10
II 信州の黄金	12
信州の金山	14
III 信州の製鉄	17
IV 信州の金属鉱山	23
展示資料一覧	31
主要引用・参考文献	32

凡 例

1. 本書は平成 11 年 10 月 9 日(土)から 11 月 23 日(水)までを会期とする特別展「黄金と鉄—信州の金属鉱山—」の展示図録である。
2. 本書の構成は、必ずしも展示順序と一致しない。また、本書には収録されていない展示資料もある。
3. 本書の執筆・構成は当館職員の協力を得て学芸員畠山幸司が担当した。
4. 本書に掲載した写真は、提供を受けたものについてはそれぞれ提供者を明記し、それ以外のは当館学芸員山口明、畠山幸司が撮影した。